



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

米トランプ大統領主導で突如始まった懲罰関税攻勢は米中貿易戦争への様相を強めて、以降世界の株式市場は上下の変動幅が広がって方向感を見失いながら、昨年から続いて来た適温相場（低金利安定下の株高進行）は完全に終焉したと言えます。世界第一と第二の経済大国同士のつばぜり合いによる世界経済全体への影響は複合的に計り知れぬ大きさであり、故にその不透明感がマーケットを不安定にしているわけです。

一方で現状の実体経済はグローバルに好循環が続いていて、その主役である米国も減税効果が更に足元の景気拡大を後押ししていますが、同時に財政支出増大が材料視され始めて、米長期金利が3%界限へと上昇基調に転じ、市場は日々一喜一憂の反応を強めています。併せて米朝緊張緩和観測やシリア爆撃といった地政学的材料が楽観悲観を繰り返す、一進一退相場とも言えましょう。

無論「セゾン号」は長期的な持続的成長を前提にしたどっしり長期運用なので、相場の乱高下は粛々と受け流し、一貫した投資行動を堅持しながら進んでいます。現実的には米国も中国も経済成長を望む者同士、落とし処を模索しているに違いなく、北朝鮮問題はどの国も金正恩体制崩壊を意図してはいません。いずれも高度な外交的駆け引きの末に譲歩と妥協に到達するのでありましょう。冷静な客観視こそが長期投資家の強みです。

グローバル投資の肝要は、世界全体が安定的成長を標榜していることを前提にした投資の継続です。長期・積立・国際分散の投資3原則を忠実に実践しながら、引き続き悠々と旅を続けてまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

4月の市場動向

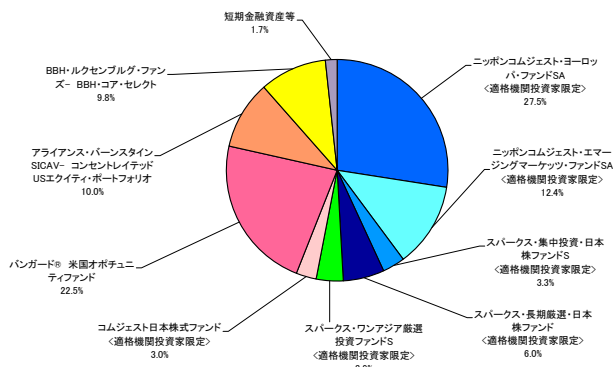
株式：【保護貿易への懸念が後退して中盤まで上昇したものの、終盤は米国で長期金利が上昇したことを受けて力強さを欠く展開】
貿易を巡る交渉の進展への期待が高まり、保護貿易への懸念が後退して中盤まで上昇したものの、終盤は米国で物価上昇観測が高まって長期金利が上昇し、株式市場からの資金流出への不安や企業業績の先行きへの懸念が広がって力強さを欠く展開となりました。

為替：【政策金利の引き上げ観測が高まったドルが堅調な展開となる一方で、ユーロが軟調。円は下落し、対ドル、対ユーロで円安】
米国で物価上昇観測が高まり政策金利の引き上げ観測が高まったことを受けてドルが上昇し、ユーロが軟調な展開となりました。円は保護貿易への懸念が和らぎリスクを選好する動きが強まるなかで、海外と日本の金利差が拡大したことを受けて下落しました。

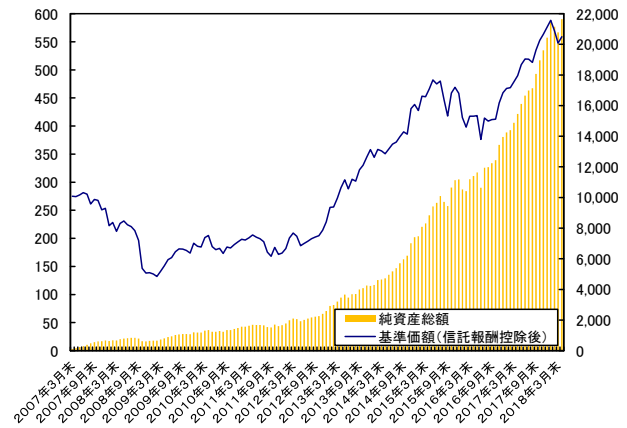
基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年4月27日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
20,493円	590.2億円	+104.93%	+2.07%	+1.13%	+14.09%

資産配分状況(2018年4月27日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェスト・エマーゼンディングマーケットツ・ファンド、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、米国オポチュニティファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から小幅に低下し、月末時点で1.7%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

金融市場を外部に切り離された閉じた世界であると仮定した場合、そこでは誰かが利益を得れば、他の誰かが同じだけの損失を被ることになり、参加者の利益の合計はゼロです。インデックス投資はその点に着目した投資手法で、参加者の利益の合計がゼロであるのであれば、市場平均を上回ることを目指すことに労力を割くことなく、市場平均に近いパフォーマンスを低いコストで実現することが合理的であるとの考えのもとで、投資を行います。

一方、当ファンドは、市場の中で他の参加者から利益を得ることを直接の目的とするのではなく、長期的な視点で投資対象の本質的価値を見極めた上で、短期的な成果を求める傾向が強い他の市場参加者に認識されていない魅力的な投資機会を活かしていくことが長期的には市場平均を上回る成果に繋がるとの考えのもとで、投資を行っております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）